



<ベトナム特別レポート>

情報提供用資料

2020年2月19日

新型コロナウイルスと

2020年のこれまでのベトナム株相場



出所：ブルームバーグのデータをもとにキャピタル アセットマネジメントにて作成

今年のVN指数は旧正月(テト)休暇前は幸先の良いスタートであった。1月前半は底堅く上昇し、テト休暇前には3%以上上昇した。しかし休暇後に市場が再開すると、新型コロナウイルスによる肺炎の蔓延により月末最終2取引日で5.5%下落した。幸いなことに新型コロナウイルスによる肺炎の発生はテト休暇中に起こったが、この期間、ベトナムでは経済活動は縮小するのが常である。そのため、他の時期にこの感染症が発生した場合に比べると、経済への影響は軽減されたと思われる。

新型コロナウイルスの蔓延の影響を正確に推定するには時期尚早かも知れないが、政府は今年のGDP成長率目標を+6.8%としていたものの、ベトナム計画投資省はこの感染症の影響を、2020年第1四半期に収束すればGDPは0.5%縮小、2020年第



2 四半期末までに収束するケースでは 0.7%縮小すると予測しており、下方修正もやむなしとなった。

2019 年 12 月 31 日に中国の武漢で最初の感染が報道されて以来、ベトナム政府はウイルスの感染防止策を策定するなど直ちに対応した。2020 年 1 月 30 日時点で、ベトナム民間航空局はベトナムと感染が確認された中国の都市間の飛行制限を実施した。また、中国とベトナム北部との国境数か所では 2 月 9 日まで封鎖措置が執られた。

これらの対応の結果、航空、旅行、製造、小売りに関連する企業は、新型肺炎の蔓延がいつまで続くかによるが、特に 2020 年第 1 四半期は悪影響を受ける可能性が高い。2019 年のベトナムと中国との貿易額は 1,170 億ドル(約 12.7 兆円)であったが、その内輸出が 410 億ドル(約 4.4 兆円)で輸出総額の 23%を占め、輸入が 760 億ドル(約 8.2 兆円)で輸入総額の 30%を占めた。中でも農業は二国間貿易の 10%を占め、国境の閉鎖により最も打撃を受けると思われる。この感染症の蔓延が 3~4 か月続けば、サプライチェーンと資材の流入に影響を及ぼし、電子機器設備、装飾品、履物、衣類などを製造する産業にとって打撃となる。

2020 年第 1 四半期の売上高には打撃となるが、年後半には回復すると思われる。しかし、新型肺炎の状況が明らかになるまでは、市場は神経質な相場展開に終始するだろう。SARS 発見者でその疫病対策を主導した中国の伝染病研究の権威である鐘南山氏の試算によると、今回の新型肺炎の新規感染者数は 2 月末に向けて急速に減少すると見込まれている。経験的には、通常は感染症を封じ込むことができれば、グローバル市場は堅調に回復している。従って、相場が大幅に急落する最近の局面では、ベトナム株は他市場と比較して、割安な上に急成長も期待できることから、長期投資家にとって参入する良い機会であると考えられる。

以上